

## 目標達成計画

作成日: 令和2 年 2月 21 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。  
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	33	看取りのマニュアルや指針は作成はしているが実施には至っていない現状です。実際に看取りを体験したことのない職員の方が数名である事で、看取りに関しての意識が薄い事で、不安になる事が考えられます。	まず、看取りをする意義、私たちがしなくてはならない看取りの心得などを意識する重要性。重度化になるに連れ必要なケアや冷静な判断力が必要になる事をチームで意識していく。	<ul style="list-style-type: none"> <li>外部研修に行った職員の復命書や資料を参考に内部研修で発表またはグループワーク。</li> <li>自事業所オリジナルの看取りマニュアル作成</li> <li>看取りを体験した職員の話や気持ち、ご家族の気持ちを知る機会。</li> </ul>	12ヶ月
2	5	運営推進会議で何を会議しているのか、どういったことを意見交換しているのか会議に参加した職員のみが体験している現状です。理解しやすく、納得いくような会議録にし利用者のサービス支援に活かせるのでは。	運営推進会議でどのような会議をしているのか、誰が見ても分かりやすい会議録の作成を行う事で、利用者の日々の支援に反映できるように心がける。	<ul style="list-style-type: none"> <li>運営推進会議を開催する意義を知る場をミーティング等で伝える。</li> <li>第三者が見ても分かりやすい会議録の書き方を再検討する。</li> <li>月1回のミーティングで運営推進会議での意見が反映できるか判断する。</li> </ul>	12ヶ月
3	35	地震だけでなく噴火、火災など様々な自然災害がある中、「大丈夫だろう」と過信せず、いつでも避難できるような気持ちや意識で支援できることが必要と思います。	年2回の防災訓練だけでなく、心肺蘇生法や救急搬送法などを職員1人1人が意識し、慌てず、落ち着いた行動ができるようになる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>年2回の防災訓練を受ける。</li> <li>心肺蘇生法やAED、消火器の確認</li> <li>利用者と散歩しながら避難場所を利用者と一緒に確認する。マップを作り壁に貼る。</li> <li>地域の防災マップを分かりやすい所に設置。</li> </ul>	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。